



天気と同様、晴れ晴れとした1年を祈願し練り歩く参加者

願い込めて歩み進める

寄木裸参り

寒中に難行苦行することで無病息災や五穀豊穡を祈る寄木裸参りは1月16日、松尾寄木で行われました。寄木裸参りは、出発地点を南寄木、北寄木、新田の各集落持ち回りで行っており、ことしは南寄木分館から出発。20人の参加者は、白装束に身を包み、出発式で神事を行った後、天照皇大神宮までの約1^キの道のりを練り歩きました。保存会世話役の高橋巳之吉さんは「天候にも恵まれ、ことしも良い年となるよう無事祈願できました」と顔をほころばせました。

高く遠くに飛び出そう

スキージャンプ体験教室

県スキー連盟ジャンプ部は1月14日、21日の両日、田山スキー場でスキージャンプ体験教室を開きました。体験教室は、気軽に楽しんでもらおうとアルペンスキーを使って行い、市内外から参加した14人は同連盟コーチ陣から基本動作を学び、特設のミニジャンプ台を使ってジャンプを体験しました。昨年も参加した安代小4年の佐々木遼君は「前よりも高く飛べて気持ちよかった」と笑顔を見せ、元気よく斜面を駆け上がり、繰り返しジャンプを楽しんでいました。



ジャンプを繰り返し、どんどん飛距離を伸ばします【連続写真】



松岡町長の巧みな話術で皆の関心を引き付けます

町づくりの仕掛け学ぶ

盛岡法人会西根支部・安代支部合同経済講演会

北海道東川町の松岡市郎町長を講師に迎えた盛岡法人会西根支部と安代支部の合同経済講演会は1月18日、新安比温泉静流閣で開催され、会員の経営者や後継者ら約70人が参加し、熱心に耳を傾けました。人口8,100人ほどの東川町は1985年に「写真の町」を宣言して以来、国際写真フェスティバルや写真甲子園などを開催。国内のみならずアジアを始めとする国々と交流を重ね、自然と文化が調和した国際色豊かな町づくりで人口増加につなげています。

安全・安心の決意宣誓

平成30年市防犯隊・交通指導隊合同初点検

平成30年市防犯隊・交通指導隊の合同初点検は1月7日、市役所多目的ホール棟で行われました。当日は、両隊の隊員や関係者ら約80人が参加。手帳や警笛などの装備品の点検が行われました。その後、両隊を代表して市防犯隊の館柳勝彦隊長が「市内で交通死亡事故が発生し、尊い人命が失われたことは非常に残念。地域安全対策や交通事故防止の啓発活動にさらに努めたい」と宣誓し、安全・安心のまちづくりに向けて、決意を新たにしました。



手帳などの装備品を確認する防犯隊・交通指導隊



各団員が息の合った分列行進を披露

防火を誓い堂々の行進

平成30年市消防出初式

平成30年市消防出初式は1月3日、市役所本庁舎前で行われました。当日は、市消防団員や婦人消防協力隊員ら約500人が参加し、参加者全員と消防車両40台が約500^名を力強く分列行進しました。その後、式典が行われ、工藤十九団長は「火災は減少傾向にあったものの、昨年末には尊い命が失われた火災が発生した。今後も消防団が一丸となり、無火災に向けて努力精進していきたい」とあいさつし、地域防災の強化を誓いました。

八幡平牛の料理に舌鼓

八幡平牛料理勉強会

八幡平和牛女子倶楽部は1月22日、西根地区市民センターで八幡平牛料理勉強会を開催しました。勉強会には会員ら20人が参加。八幡平牛のバラ肉を使った牛丼や肉まんなどを作りました。その後、市牛肉推進協議会などを招いた試食会が行われ、八幡平牛をふんだんに使った料理に参加者は舌鼓を打っていました。同倶楽部の藤原純子会長は「八幡平牛の魅力を幅広く知ってもらうため、もっとPRしていきたい」と意欲を燃やしました。



藤原会長(左から2人目)が考案した肉まんを作る会員ら

すなっぶギャラリー



中学生14人がインターナショナルスクールの学生と英語で交流(1月5日、市イングリッシュ・キャンプ)



各種スキー大会協賛金として、市建設協同組合から20万円の目録が贈られました(1月11日、市役所)



無病息災と五穀豊穡を祈願し宮田神社から八坂神社までの約8^キを練り歩く女性たち(1月8日、平笠裸参り)



八幡平消防署松尾出張所の防災用品展示会に松野保育所の園児が訪れました(1月15日、市役所)



市ふるさと大使の平野正人さんの語りに参加者は聞き入りました(1月3日、オーフィールド八幡平)